

「農業はあわら市位の今より大きな規模でやったら？」

農業の話は、日本にとっても最重要課題だと思いますが、私の親族には農業従事者が皆無であり、一番苦手な（というか実体験がない）分野でもあります。現在一生懸命農業を行っている皆様から見たら、なんて的外れな、と思うかもしれませんが、まあ、聞いてください。そして沢山批判をください。みなさん、いま日本のカロリーベースの自給率が 39%なのに減反政策とかで、コメの生産を抑えているって訳分からなくないですか？大体、パンもいいけど、もっと米を食ってことですよ。食料の自給率を高めるという事は、有事等の国難時にも備えとなります。それはさておき、農業って、もっと大規模に営み、生産の制限なく、もっとたくさん生産して輸入品に負けない競争力をつけるべきだと思いますか？日本は近代化の過程で、工業については中小企業が 대기업となっていき、技術の集積を行い、分割損を無くし大量生産をしてコストを落とし、競争力をつけていきました。日本の農業はどうでしょう？最近、共同経営やあわら市でイオングループがやっているような集約化も図られていると思いますが、農家 1 戸あたりの耕地面積は、アメリカの 80 分の 1、オーストラリアの 1400 分の 1 です。日本は、戸毎に狭い土地を手掛けるので、各戸で人手、機械等を持っていなくてはならず、ツールの分割損、人手の分割損、作業の分割損等があり、非効率的だと思うのです。そこで、例えば、私がいるあわら市で、あわら市が各戸の農地を株のような形で借り受け、第 3 セクターの様な組織（会社）を作り、そこで従業員を雇い大規模農業を行うという事はできないのでしょうか。すると、大きな土地で各従業員が作業分担を行い、最小限の労力、時間、資源で農業が行えるのではないのでしょうか。利益は土地提供の規模（株の量）で土地所有者に還元します。つまり、土地所有者は会社で言う株主のような位置づけになります（もちろん、資金提供する本来の意味の株主も出てくると思いますが）。患者さんの中に農家の方も多く、この話をすると、「土地は手放したくない」、「そんな事より、よりブランド化した方がいい」と言う方がいらっしゃいます。このような自分の土地は自分で手掛けたいという方は今まで通りの農業をされたいと思います（例えば、あわらにある「麻王伝兵衛のトマト」の様なブランドで勝負というのもありだと思います（勝手に名前を出してすいません））。会社組織にすると、普通の会社と同じように社員（農業従事者）を全国から募集し、若い人等があわら市に定住してくれるケースも増えて、人口が増えるというメリットもあると思います。

みなさん、私は、農業をあわら市位の大きな規模で会社組織にて経営し、農業の効率化（競争力のアップ）、人口の増加を図る事を提案します。（特に農業をされて苦勞されている方、私の頭でっかちの案に忌憚のない厳しい批判をお待ちしています。よろしく願いいたします。）